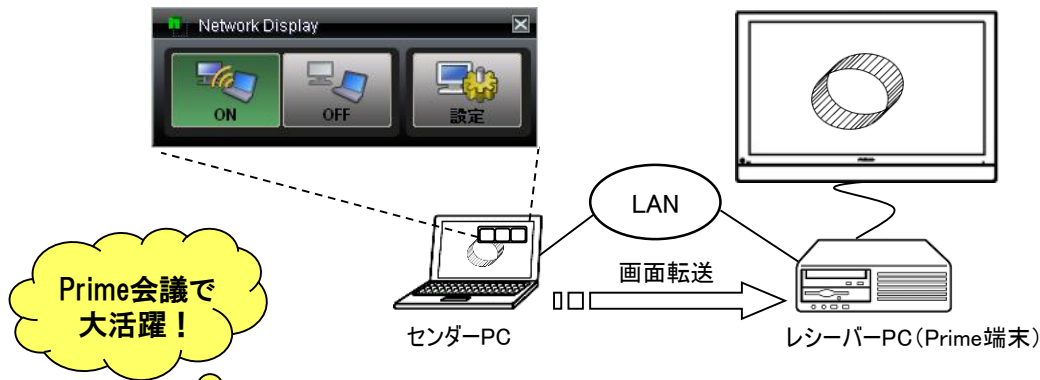


はじめに

Network Display とは・・・

Network Display とは、IPネットワークを利用した簡単・便利な画面転送ソフトウェアです。

WEB画面より、専用ソフトウェアを起動させるだけで、ネットワークを介したリアルタイム画面転送が行えるシステムを簡単に構築できます。遠隔会議システムPrimeと連携して使用することにより、より多くの情報を会議の参加者全員と瞬時に共有することが可能です。



～Network Display はこんなに便利です～

- **ソフトウェアのインストールは必要ありません**
 センダーソフトウェアはインストールの必要がなく、WEB画面より直接起動してご利用いただけます。
- **画面切替もボタンひとつで簡単です**
 複数人数での利用が可能です。表示画面の切替は、各自がボタンをクリックするだけの簡単操作です。
 従来、発表者変更の度に必要だったRGBケーブル接続の煩わしさを解消し、スムーズで効率的な会議スタイルを実現します。
- **データを1つにまとめる必要はありません**
 各自のPCから直接資料の提示ができるので、会議室のPCに資料を用意するという事前準備の手間が省けます。
- **表示画面はそのまま遠隔地のPrime端末に公開されます**
 各自のPCからの操作だけで、簡単に遠隔地との画面共有が開始できます。

目次

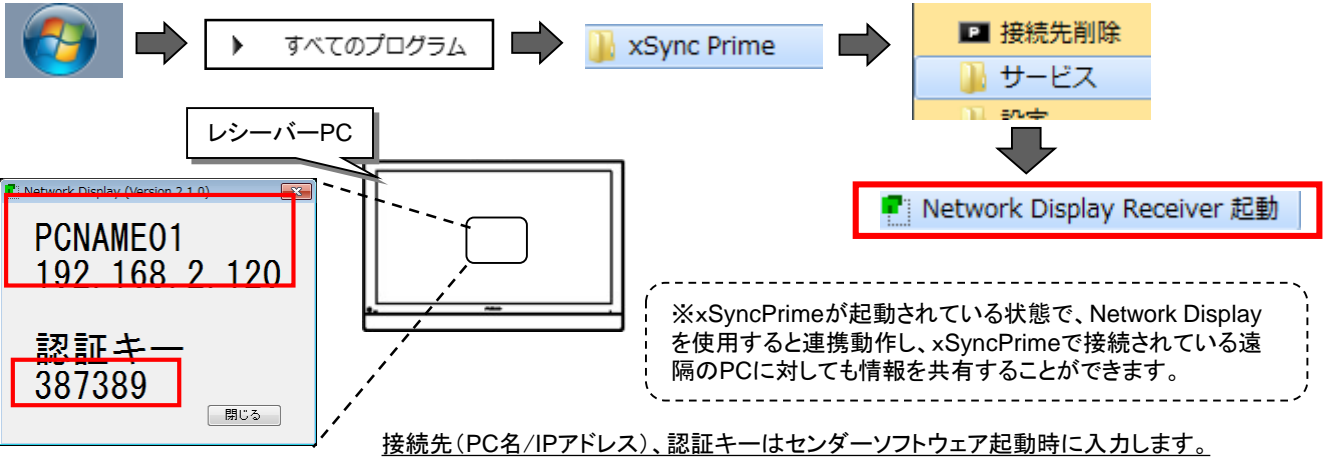
| | | | |
|--------------------------------------|----------|---------------------------|-----------|
| Network Display を使ってみよう | 2 | タスクレイメニュー(レシーバーソフトウェア)... | 7 |
| 事前準備..... | 2 | [ステータス]ダイアログ..... | 7 |
| 基本的な使い方(起動)..... | 2 | [接続先・認証キー入力]ウィンドウ..... | 8 |
| 基本的な使い方(画面表示・終了)..... | 3 | 設定項目 | 9 |
| 表示画面を切り替える..... | 4 | [設定]ダイアログ..... | 9 |
| ショートカットキーを利用する..... | 4 | 名称表示設定について..... | 10 |
| 画面の説明 | 5 | 画面フィット設定について..... | 11 |
| 各ボタンの説明..... | 5 | 表示エリアを指定する..... | 12 |
| [Network Display]ウィンドウの自動縮小化..... | 6 | システム構成・動作環境 | 13 |
| タスクレイメニュー(センサーソフトウェア)..... | 6 | | |

Network Display を使ってみよう

事前準備

xSyncPrimeがインストールされているPCで、Network Display レシーバーソフトウェアを起動してください。


PCの電源をONにし、Windowsの「スタート」→「すべてのプログラム」から「 Network Display Receiver 起動」を行います。



基本的な使い方(起動)

Network Display の基本的な操作手順(セnderソフトウェアの起動から終了まで)を説明します。

1 セnderソフトウェアの起動

1. セnderPCの電源をONにし、デスクトップ上の  をクリックします。
2. ログイン画面(アドレス欄に<http://【IPアドレス】/>を入力後、「Enter」キーを押下)を表示し、以下のリンクをクリックします。



※【IPアドレス】はお客様環境によって異なります。

3. 表示されたウィンドウに、レシーバーPCのIPアドレス(またはPC名)、認証キーを入力し、**接続** ボタンをクリックします。

※「こちら」をクリック後、警告ダイアログが表示された場合、「実行」ボタンをクリックしてください。
さらに、「このソフトウェアを実行しますか?」と表示された場合は、「実行する」ボタンをクリックしてください。



[接続先・認証キー入力]ウィンドウ(P.8)



Network Display を使ってみよう

基本的な使い方（画面表示・終了）

2 レシーバーPCに画面を表示する

- [Network Display] ウィンドウが縮小表示されている場合は、ウィンドウ上にマウスポインタを重ねます。
→ [Network Display] ウィンドウが最大化されます。



※マウスポインタがウィンドウから外れると再び縮小表示されます。

- [ON] ボタンをクリックします。
- レシーバーPCにセンターPC画面が転送され、レシーバーPC画面に表示されます。
同時に、レシーバーPC画面 (Prime 端末画面) が他拠点に公開されます。

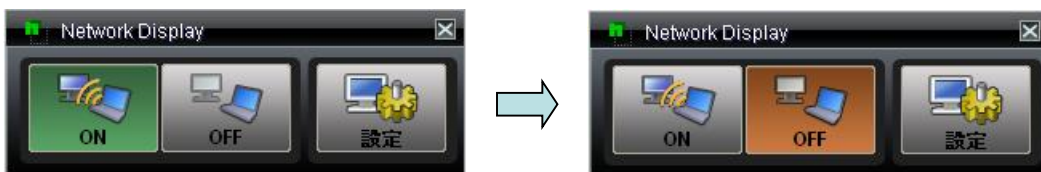


[ON] ボタンは次の2つの動作を同時に行います。

- ① レシーバーPCへの画面表示
- ② レシーバーPCにおける[資料の公開]操作（「各ボタンの説明」(P.5)のNOTEを参照）

3 センダーソフトウェアを終了する

- [Network Display] ウィンドウの[OFF] ボタンをクリックし、画面表示を終了します。



- [Network Display] ウィンドウの [X] 閉じる ボタンをクリックします。
→ センダーソフトウェアが終了します。



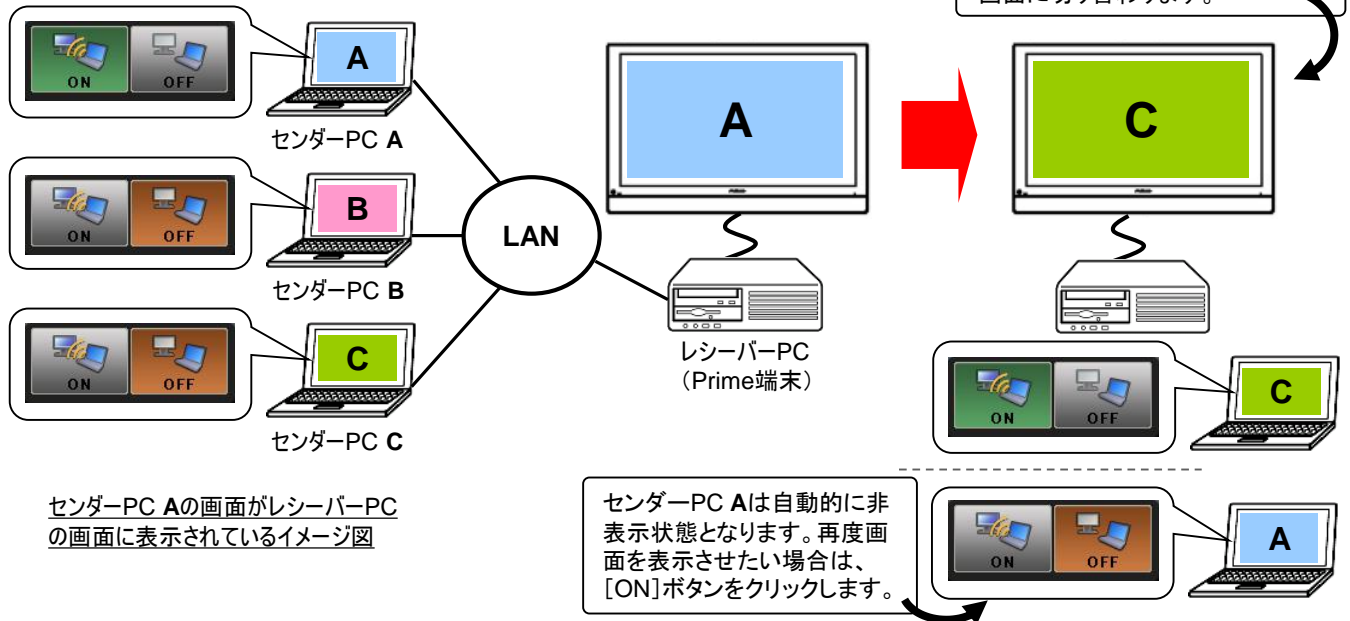
[Network Display] ウィンドウの詳細は、「各ボタンの説明」(P.5)をご覧ください。

Network Display を使ってみよう

表示画面を切り替える

複数台のセンダーPCを接続してご利用の場合、[ON]ボタンで簡単に表示画面を変更できます。

- ※ 同時に接続できるセンダーPCの台数に制限はありません。
- ※ 表示できるセンダーPCは1台のみです。
- ※ 後に[ON]ボタンをクリックしたセンダーPCが優先です。



ショートカットキーを利用する

ショートカットキーを利用すると、[Network Display]ウィンドウを最小化した状態で画面のON/OFF操作が行えます。

Network Displayで使用できるショートカットキーの一覧は下記の通りです。

センダーPCでショートカットキーを使用する場合は、設定ダイアログにて[ショートカット設定]を有効にしておく必要があります。

| PC | ショートカットキー | 動作 | 内容 | [設定]エリア |
|-------|-----------|----------|---|---------------------------|
| センダー | Ctrlキー2回 | [ON]ボタン | センダーPCの画面をレシーバーPCに表示し、表示画面を他拠点に公開します。(P.5 NOTE参照) | [オプション設定]— [ショートカット設定] |
| | 左Altキー2回 | [OFF]ボタン | レシーバーPCに表示している画像を非表示にします。 | 同上 |
| レシーバー | Ctrlキー2回 | [OFF]ボタン | 表示されているセンダーPCの画面を非表示にし、レシーバーPCのデスクトップを表示します。 | 設定なし |

※[設定]ダイアログの詳細は、「[設定]ダイアログ」(P.9)をご覧ください。

画面の説明

各ボタンの説明

[Network Display] ウィンドウの各ボタンについて説明します。

Network Display の操作は、[Network Display] ウィンドウに配置されたボタンをクリックするだけのワンアクションが基本です。

センダーソフトウェアを起動すると、[Network Display] ウィンドウは表示されます。



※[Network Display] ウィンドウは、無操作時、自動縮小化されます。詳細は、次ページの「[Network Display] ウィンドウの自動縮小化」をご覧ください。

| イメージ | 名称 | 内容 | 表示ON時 | 表示OFF時 |
|------|-----|--|-------|--------|
| | ON | センダーPCの画面をレシーバーPCに表示し、表示画面を他拠点に公開します。(下記NOTE参照) | | |
| | OFF | レシーバーPCに表示している画像を非表示にします。 ※初期状態(センダーソフトウェア起動時)は「OFF」機能が有効になっています。 | | |
| | 設定 | [設定]ダイアログを表示します。 | | |
| | 閉じる | センダーソフトウェアを終了します。 | | |

NOTE

[ON]ボタンは次の2つの動作を同時に行います。

- ① レシーバーPCへの画面表示
- ② レシーバーPCにおける[資料の公開]操作 (※)

※ 操作パネルの[資料の公開]ボタンが自動的にONになり、センダーPCの画面が遠隔地のPrime端末に公開されます。通常、[資料の公開]中はデスクトップ周囲がオレンジ色の枠で囲まれますが、センダーPCの画面が公開されている間は、デスクトップ周囲を緑色の枠で囲みます。

[資料の公開]は、以下の場合において停止されます。(同時に[OFF]ボタンが有効になります。)

- ① 自拠点のPrime端末において[公開の停止]ボタンがクリックされた場合
- ② 自拠点を含むいずれかの拠点において、[ホワイトボード]ボタンがクリックされた場合
- ③ 他拠点にて接続されているセンダーPCにおいて、[ON]ボタンがクリックされた場合

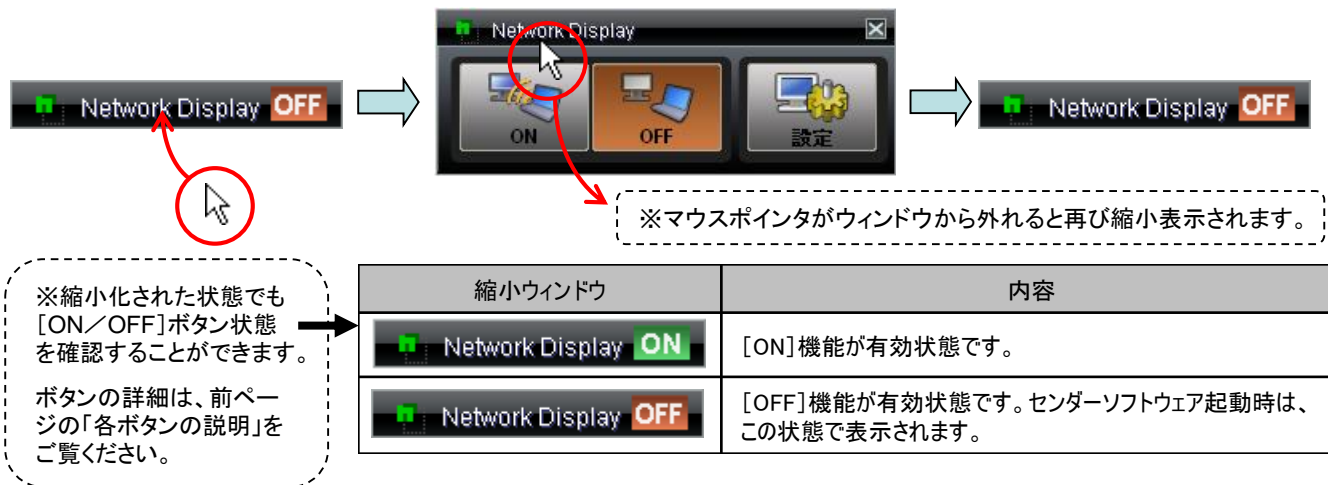
[資料の公開]操作の詳細は、以下のマニュアルを参照ください。

- 「簡易マニュアル」-「⑦発表する(資料を説明する)」(P.8)
- 「詳細マニュアル」-「会議操作編」-「資料を公開する」(P.59)、「資料の公開を停止する」(P.60)

画面の説明

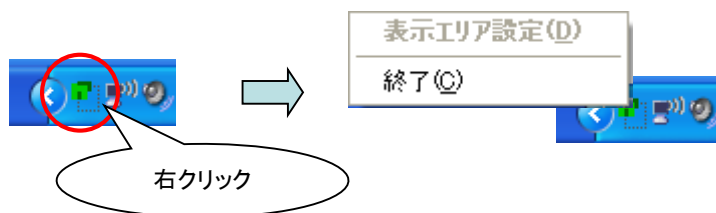
[Network Display]ウィンドウの自動縮小化

センダーPCに表示された[Network Display]ウィンドウは自動的に縮小化されます。ボタン操作を行う場合は、マウスポインタを[Network Display]ウィンドウに重ねます。



タスクトレイメニュー（センダーソフトウェア）

センダーソフトウェアが起動しているときは、タスクトレイにNetwork Display アイコン が表示されます。ここでは、Network Display アイコンを右クリックしたときに表示されるタスクトレイメニューについて説明します。



| | |
|--------------|-------------------------|
| 表示エリア設定(D) ※ | 送信画面領域の赤枠を表示します。 |
| 終了(C) | Network Display を終了します。 |

※ レシーバーPCの画面解像度よりもセンダーPCの画面解像度が高い場合で、[設定]ダイアログ「画面フィット設定」(P.9参照)を「フィットなし」に設定している場合に表示されるメニューです。詳細は、「表示エリアを指定する」(P.12)をご覧ください。

画面の説明

タスクトレイメニュー（レシーバーソフトウェア）

Prime を起動すると、タスクトレイにNetwork Display アイコン が表 示 されます。

ここでは、Network Display アイコンを右クリックしたときに表示されるタスクトレイメニューについて説明します。



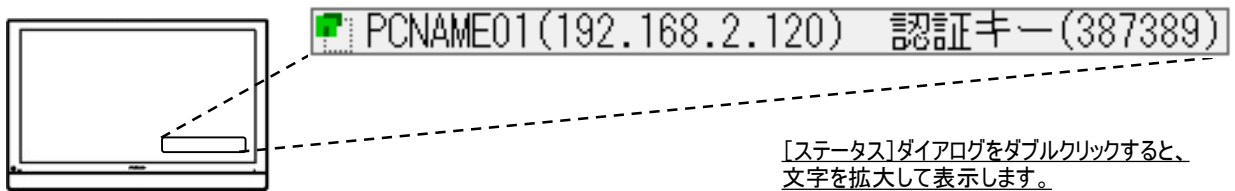
| | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ステータスダイアログを表示 ※ | [ステータス]ダイアログの表示／非表示を切り替えます。 |
| 接続情報を表示 | 接続されているセンダーPCの一覧([接続情報]ダイアログ)を表示します。 |
| 常に手前に表示 | [ステータス]ダイアログを常に手前に表示または解除します。 |
| ネットワークディスプレイの終了 | Network Display を終了します。 |

※ [ステータス]ダイアログは、レシーバーソフトウェア起動時に画面右下に表示されます。詳細は、下記「[ステータス]ダイアログ」をご覧ください。

[ステータス]ダイアログ

[ステータス]ダイアログでは、センダーソフトウェア起動時に必要になる認証キー、レシーバーPCのIPアドレスなどが確認できます。

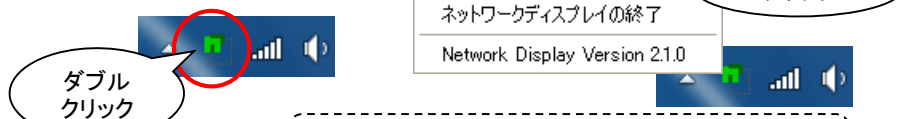
* 初期設定表示位置。表示位置は前回の会議終了時点の表示状態に依存します。



| | |
|--------------|-----------------------------------|
| PC名 (IPアドレス) | レシーバーPCのPC名およびIPアドレスを表示します。 |
| 認証キー | センダーソフトウェア起動時に入力が必要となる認証キーを表示します。 |

[ステータス]ダイアログが非表示の場合、以下の方法で表示します。

- タスクトレイメニューの「ステータスダイアログを表示する」をクリックします。

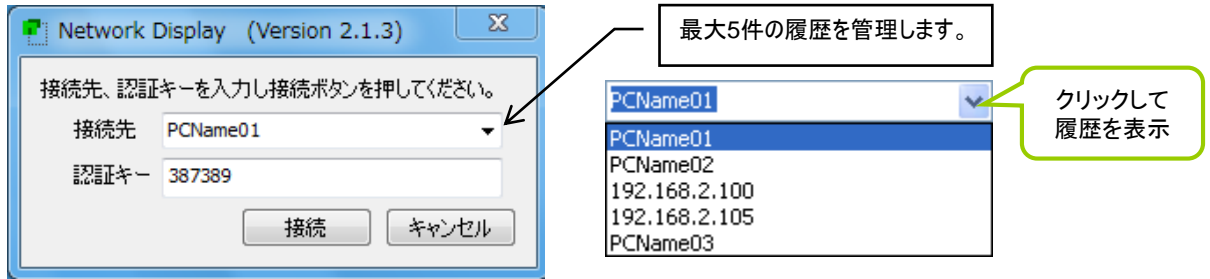


※タスクトレイメニューの詳細は、上記「タスクトレイメニュー(レシーバーソフトウェア)」をご覧ください。

画面の説明

[接続先・認証キー入力]ウィンドウ

誤ったレシーバーPCへの画面転送を防止するため、セnderソフトウェア起動時に認証キー入力を行います。
ここでは、セnderソフトウェアを起動する際に表示される[接続先・認証キー入力]ウィンドウについて説明します。



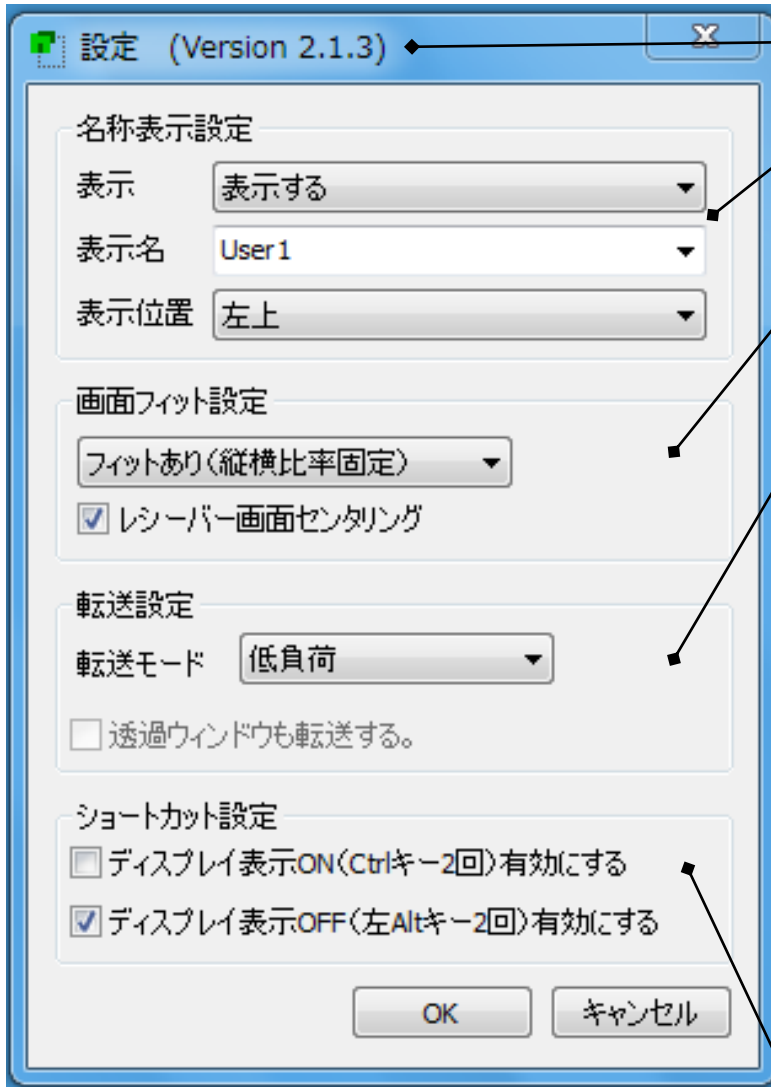
| | |
|------|---|
| 接続先 | [ステータス]ダイアログ(P.7)に表示されるIPアドレスまたはPC名(※)を入力するか、履歴から接続先を選択します。 ※DNS等により名前解決ができる環境のみ有効 |
| 認証キー | [ステータス]ダイアログ(P.7)に表示される認証キーを入力します。 |

設定項目

[設定]ダイアログ

Network Display の各種設定を行う[設定]ダイアログについて説明します。

[設定]ダイアログは、[Network Display]ウィンドウの[設定]ボタンをクリックして表示します。



(Version x.x.x)
センターソフトウェアのバージョンを表示します。

■ 名称表示設定
レシーバPCへの名称表示に関する設定します。
詳細は次ページの「名称表示設定について」をご覧ください。

■ 画面フィット設定
画面フィット機能の利用の有無を設定します。
詳細は11ページの「画面フィット設定について」をご覧ください。

■ 転送設定
転送モード(3モードから選択)を設定します。

- 標準
- 画質優先
- 低負荷

- チェックボックスのチェックが外れている場合
センターPCに表示されている[Network Display]関連ウィンドウとデスクトップ内容がレシーバPCに転送・表示されます。
- チェックボックスをチェックした場合
センターPCに表示されている全ての透過ウィンドウとデスクトップ内容がレシーバPCの画面に表示されます。

※ご利用のOS環境がWindows Vista / Widows 7 の場合で、Windows Aero機能をONIにしている場合、設定の有無に関わらず、チェックボックスの設定は常に有効になります。

■ ショートカット設定
ショートカットキーの利用の有無を設定します。
設定を有効にすると、画面表示のON/OFFがそれぞれ、キーボードから操作できます。

※各設定が終了したら、必ず[OK]ボタンをクリックして設定を有効にしてください。

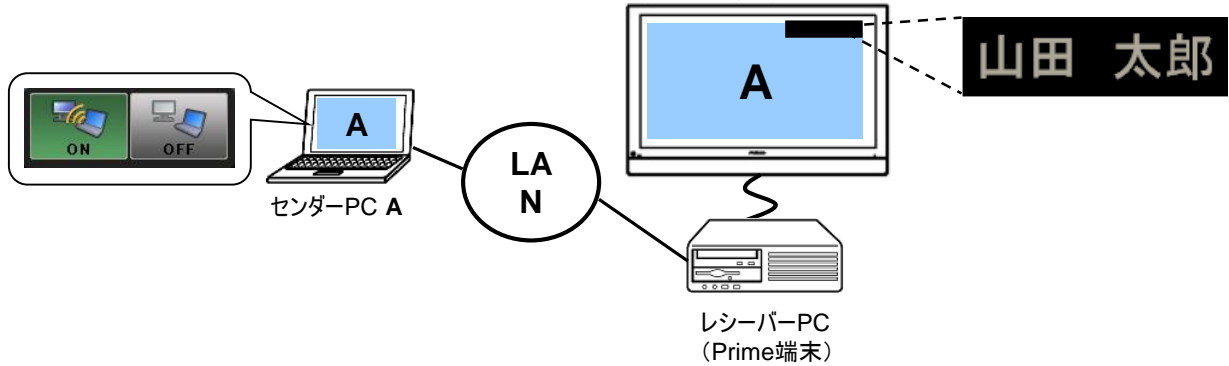
[OK]ボタンをクリックせずに[X] 閉じる]ボタンでダイアログを閉じると設定内容が有効になりません。


設定を中止したい場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
設定途中の内容は無効となります。

設定項目

名称表示設定について

センターPC を“ON”とした際に、レシーバPCへ名称を表示させることができます。



表示設定は  押下後、「名称表示設定」により行います。

名称表示設定

表示

表示名

表示位置

| | |
|------|--|
| 表示 | 「表示しない」「表示する」「常に表示する」から選択します。 「表示する」にした場合、3秒表示後自動消去されます。 |
| 表示名 | 表示する名称を入力します。 また、以下から選択することもできます。 「PC上で設定されているログインユーザーIDのフルネーム」 「ログインユーザーID」「PC名」 |
| 表示位置 | 「左上」「右上」「左下」「右下」から選択します。 |

設定項目

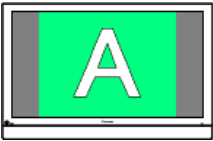


画面フィット設定について

画面フィット機能とは、センダーPCの画面解像度とレシーバーPCの画面解像度が異なる場合、レシーバーPCの画面解像度に合わせて、センダーPCの画面を拡大もしくは縮小してレシーバーPCに表示させる機能です。

[設定]ダイアログの「オプション設定」-「画面フィット設定」にて設定します。

以下は、「画面フィット設定」の早見表です。センダーPCとレシーバーPCの解像度が異なる環境でご利用の場合、参照してください。

■ センダーPCの画面解像度がレシーバーPCの画面解像度より低い場合

| | <input checked="" type="checkbox"/> レシーバー画面センタリング | <input type="checkbox"/> レシーバー画面センタリング |
|---------------------|--|---|
| 1 フィットあり(縦横比率固定) |  |  |
| 2 フィットあり |  | 同左 |
| 3 フィットなし |  |  |

- 1: センダーPCの画面解像度の縦横比を固定したまま、レシーバーPCの画面解像度に合わせて拡大表示します。
- 2: センダーPCの画面解像度の縦横比を固定せずに、レシーバーPCの画面解像度分いっぱいに表示します。
- 3: 等倍で表示します。

■ センダーPCの画面解像度がレシーバーPCの画面解像度より高い場合

| | <input checked="" type="checkbox"/> レシーバー画面センタリング | <input type="checkbox"/> レシーバー画面センタリング |
|---------------------|---|--|
| 1 フィットあり(縦横比率固定) |  |  |
| 2 フィットあり |  | 同左 |
| 3 フィットなし |  |  |

- 1: センダーPCの画面解像度の縦横比を固定したまま、レシーバーPCの画面解像度に合わせて縮小表示します。
- 2: センダーPCの画面解像度の縦横比を固定せずに、レシーバーPCの画面解像度分いっぱいに表示します。
- 3: 等倍で表示します。レシーバーPCの画面解像度分の大きさで表示します。表示されていないエリアは、[表示エリア設定]機能(タスクトレイメニュー(P.6))を利用して表示させることができます。

※[表示エリア設定]機能の詳細は、次ページをご覧ください。

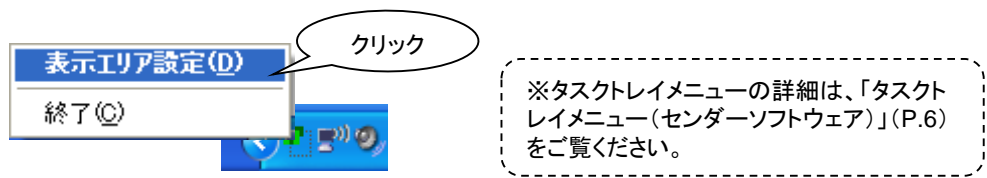
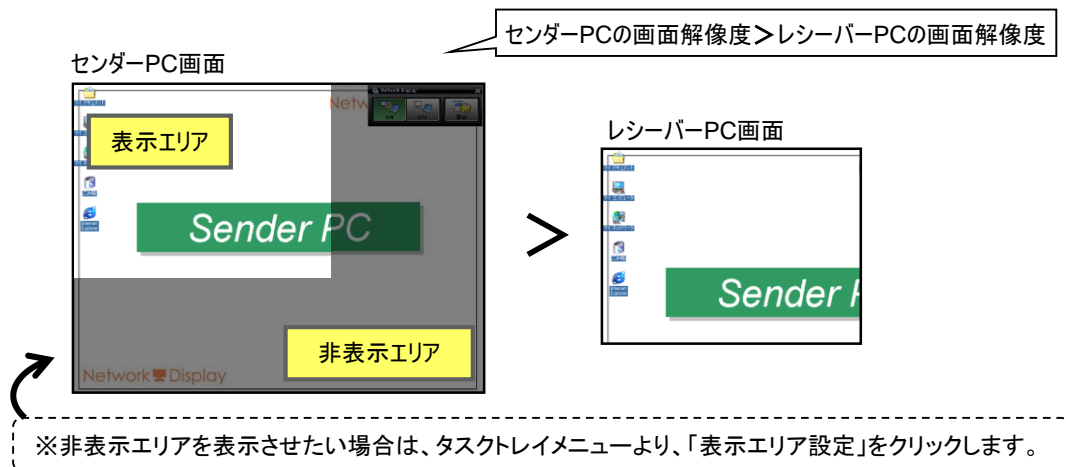
設定項目

表示エリアを指定する

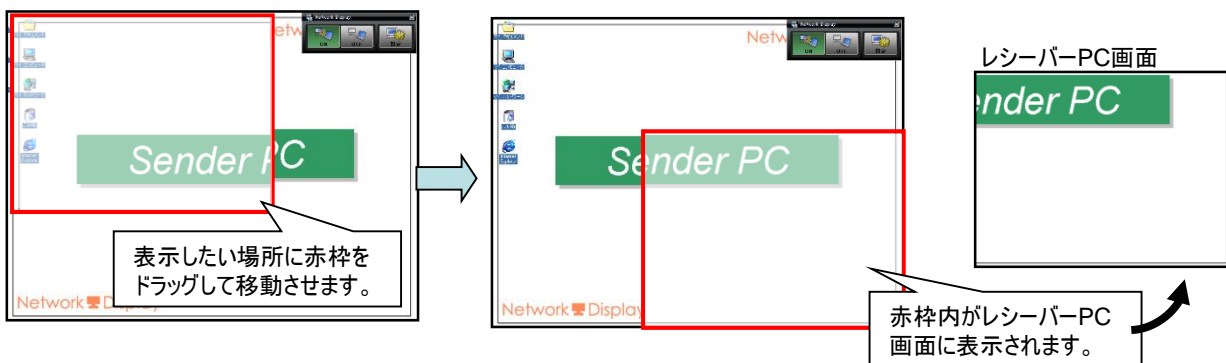
「表示エリア設定」機能を利用すると、任意の表示エリアを指定、表示させることが可能です。

レシーバーPCの画面解像度よりセNDER-PCの画面解像度が高い場合で、「画面フィット設定」を「フィットなし」に設定している場合、セNDER-PC画面は、レシーバーPCの画面解像度分の大きさに切り取られた形で表示されるので、非表示エリアが生じます。

その場合、「表示エリア設定」機能を利用することで、表示させたいエリアを指定してレシーバーPC画面に表示させることができます。

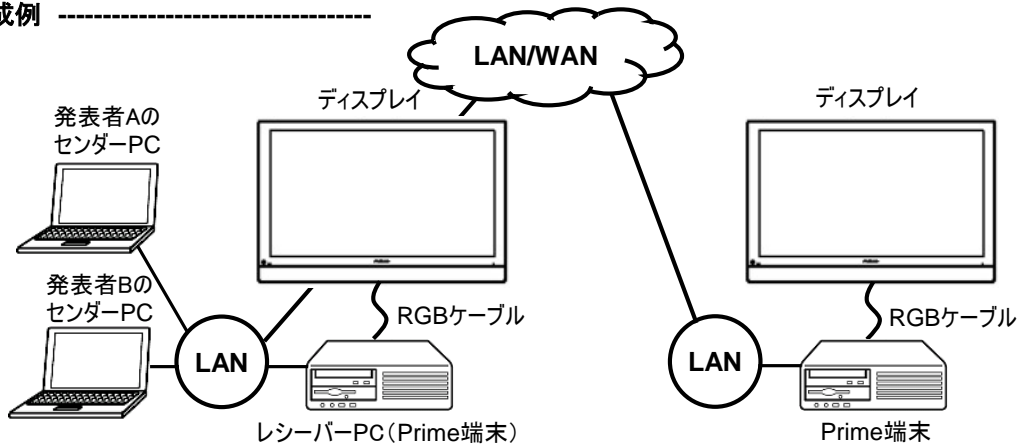


レシーバーPC画面解像度サイズの送信画面領域を示す赤枠が表示されるので、任意の表示エリアにドラッグして移動させます。送信画面領域の赤枠で囲まれたエリアがレシーバーPC画面に表示されます。



システム構成・動作環境

システム構成例 -----



| | |
|-------------|--|
| レーザーPC | 共有ディスプレイを接続し、セnder-PCの画面を受けるPCです。xSync Prime のインストールが必要です。ライセンス登録「あり」で設定されている「拠点」PCの場合、レーザーソフトウェアは自動起動します。※ * 共有ディスプレイ=レーザーPCのディスプレイ(例: プラズマディスプレイ等の大型ディスプレイ) |
| セnder-PC | セnderソフトウェアを起動したPCです。「拠点」に集まった参加者の持ち込みノートPCがこれにあたります。セnder-PCは、レーザーPCと同一ネットワーク上にある必要があります。複数のPCで切り替え可能です。 |
| レーザーソフトウェア | セnder-PCの画像を表示するためのソフトウェアです。Prime 端末にインストールされます。 |
| セnderソフトウェア | レーザーPCへ画像を転送するためのソフトウェアです。WEB画面より起動します。 |
| Prime端末 | Prime がインストールされているPCを指します。 |

動作環境(セnderソフトウェア) -----

※レーザーソフトウェアの動作環境は、Primeの動作環境に準じます。

| | |
|-----------|--|
| OS *1 | Microsoft® Windows® 10 (32bit/64bit) (日本語版/英語版) Microsoft® Windows® 8.1 (32bit/64bit) (日本語版/英語版) Microsoft® Windows® 7 SP1以降(32bit/64bit) (日本語版/英語版) |
| CPU | Intel® Pentium®4 プロセッサ2.4 GHz 以上 Intel® Pentium®M プロセッサ1.0 GHz 以上 |
| メモリ ※2 | 1GB以上 |
| ネットワーク | TCP、IPv4 / 使用ポート 50005 |
| 必要なソフトウェア | Microsoft® Internet Explorer® 11 |
| 注意事項 | ※1 Windows Aero機能はOFFにすることを推奨いたします。 ※2 併用するアプリケーションやウイルス対策ソフト、画面解像度(UXGA以上)によっては、増強が必要な場合があります。 ➢ マルチディスプレイには対応しておりません。 |

●Microsoft®、Windows® は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●Intel®, Pentium® はIntel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。